



いつも新しい流れがある 市川

令和5年9月12日

報道関係者 各位

市川市 福祉部長 菊田 滋也

市川市教育委員会 学校教育部長 藤井 義康

「市川のなし」及び月刊誌「ちゃぐりん」の寄贈について

市川市農業協同組合（JA いちかわ）から、毎年、梨及び食育月刊誌「ちゃぐりん」の寄贈を受けており、本年も寄贈いただけることになりました。

ついては、下記のとおり贈呈式及び感謝状贈呈式を執り行いますのでお知らせいたします。

記

日 時： 令和5年9月15日（金）15時00分～15時30分

場 所： 市川市役所 第1庁舎4階 秘書課 応接室

寄 贈 者： 市川市農業協同組合（代表理事組合長 今野博之 氏）

寄 贈 品： ①「市川のなし」 あきづき、新高：5kg箱100箱（予定）
②月刊誌「ちゃぐりん」9月号3,616冊、10月号3,616冊

寄贈理由：「『市川のなし』を障がい福祉施設の利用者に食べていただきたい」、「市川市の農業が特集された『ちゃぐりん』を教育に活用してほしい」とのJAいちかわの皆様思いから、寄贈いただくものです。

配 布 先： ①市内の障がい福祉施設
②市内の小学校、義務教育学校、特別支援学校小学部（40校）

連 絡 先： ①「市川のなし」の寄贈について
福祉部障がい者支援課 課長 加藤俊也

電話 047-712-8516（直通）

②月刊誌「ちゃぐりん」の寄贈について

教育委員会 学校教育部 保健体育課 課長 関原一久

電話 047-383-9342（直通）

○「市川のなし」の寄贈について

千葉県は全国一の梨生産地であり、その中でも市川市は市町村別産出額がトップクラスの梨の一大産地になっています。

市川市で栽培される梨は、その知名度や歴史などが総合的に評価され平成 19 年 8 月に特許庁の地域団体商標登録『市川の梨』として地域ブランドの認証を受けました。

「全国有数のブランド梨である「市川のなし」を障がい福祉施設の利用者の皆様に食べていただきたい」とのJAいちかわの皆様のお思いから、寄贈していただくものです。

『あきづき』

< 収穫時期 >

9 月上旬～9 月下旬

< 見た目 >

果実は扁円形で、果重は 500 グラム程度と豊水より大きいのが特徴です。

< 食味 >

幸水のみずみずしさ、豊水の甘さ、新高の大きさをあわせ持った品種です。みずみずしくほどよい甘さが特徴です。



『新高』

< 収穫時期 >

9 月中旬～10 月上旬

< 見た目 >

果皮は褐色で平滑になっているのが特徴です。果実は 500～700 グラムと大変大きく育ちます。

< 食味 >

果肉は白色緻密で軟らかく、甘みが多くて酸味が少なく独特の芳香があります。



○「ちゃぐりん」の寄贈について

「ちゃぐりん」は、社会的に重要なテーマである「子どもの問題」に真正面から取り組み、「いのち・自然・食べ物・農業の大切さ」をわかりやすく子どもたちに伝える雑誌です。

「市川市でも農業が盛んにおこなわれていること等が書かれている『ちゃぐりん』を、子どもたちの健全な成長に資する取り組みの一助として活用してほしい」とのJAいちかわの皆様思いから寄贈いただくものです。

今回寄贈いただく9月号には、「小島よしおの産地へGO!GO!」のコーナーで「市川とまと」が特集されております。

また、「9月号」「10月号」の2回にかけて、「教えて先生」のコーナーにおいて、JA いちかわ代表理事組合長 今野 博之様による

JA いちかわの取組(『市川市の野菜をアピールする「いちベジ」ブランド及び日本一の梨を世界一の値段でドバイへ輸出していること』)についてのお話が掲載されております。

